

アートボックスでフュージング

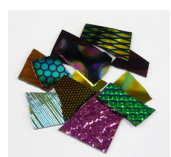
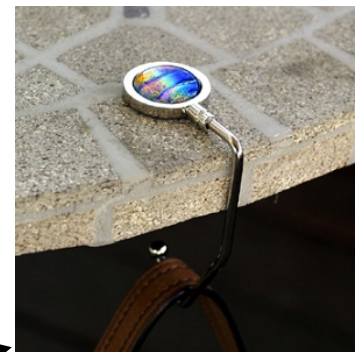
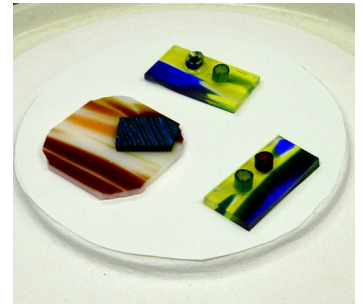
アートボックスは、ご家庭の電子レンジの中に入れてフュージングを行う超小型の窯ですが、ガラスを溶かすために内部が800℃以上の高温になります。使用にあたっては次のような点にご注意ください。

- 1) 使用する電子レンジは、なるべく単機能のものをご使用ください。
ホームセンターで販売されているもので9000円未満のものがオススメです。高級な多機能電子レンジではセンサーが働き途中で止まる、あるいはセンサーが壊れるなどが報告されています。
- 2) 初回や久しぶりに使用する場合は、アートボックスの湿気を取るために5分程度空焼きをします。
- 3) 離型紙(セラフォーム、セパレートペーパー、セラミックペーパーとも呼ばれます)をアートボックスの台座に敷きガラスを載せます。これは溶けたガラスがアートボックスの台座に引っ付くのを防ぐためのものです。モールドを使用の場合は、キルンウオッシュなどをモールドに塗ります。何回か重ね塗りをして、塗り残しがないか確認し十分乾いてからガラスを入れて焼成します。生乾きで電子レンジに入れて加熱すると水蒸気爆発する危険があります。
ガラスを重ねる場合は、加熱中にガラスのずれを防ぐ「フュージングのり」などを使いましょう。
- 4) フュージングするガラスは同じ膨張係数 (COE=Coefficient Of thermal Expansion) のものを使ってください。膨張係数が異なると出来上がり作品にヒビが入ったり割れたりします。なおフュージングに使われる主なガラスの膨張係数は次の通りです。90:ブルザイ/ウロボロス、96:ウロボロス/スペクトラム、104:モレッティ 膨張係数が分からない場合は、ご自分でテストピースを作り(=試行錯誤)、合う合わないをメモしておきます。同じ膨張係数のガラスは同じ箱に入れて管理すると楽です。
- 5) 加熱(500W電子レンジで10分前後)が終了したらアートボックスをレンジ内に放置せず、速やかに取り出します。熱せられたアートボックスを中に入れてたままレンジのスイッチを切るとファンが止まり、熱でレンジが壊れます。電子レンジに入れる時は素手でもよいのですが、取り出す時は熱いので軍手やオープンミトンなどはめてください。ガラスが十分に柔らかくならない場合は何回か加熱することもあります。余熱がある場合は、2回目以降は加熱時間を短くします。加熱時間と出来上がりのデータを記録しておく、今後の作業の目安になります。
- 6) 取り出したアートボックスは、園芸用のレンガなど耐火物の上に載せ30分ほど放置します。すぐフタを開けるなどをすると、ガラスが急に冷やされ割れる原因になります。また除冷点でガラス内部のひずみをゆっくり取らないとやはり割れたりしますのでご注意ください。
- 7) 右画像のサンプルは、10分+3分加熱したものです。ご使用の電子レンジやガラス、作るものなどにより加熱時間が異なりますので、イロイロ試してください。
- 7) 出来上がったピースはペンダント用金具などに付けて楽しめます。接着剤はやせない(肉やせしない)タイプのものがオススメです。商品名ではセメダインスーパーX2 などがこれに相当します。

◆SGS-JPN-SHOP◆



8862
アートボックスM
内寸φ11cmxH45mm



ダイクロ75g黒



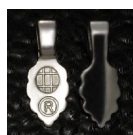
DG96-BK75g 左上
SYS96-GP-S8
ガラスパックミニ 15x15x8枚

8865-35-10
セラフォーム35x35cm 10枚

9222
フュージングのり



4554
安楽シルバーベイル 小 25個組



8884-HF
高温用キルンウオッシュ



4558
手荷物掛け

<http://www.sgs-jpn-shop.com>